



イベント 終了しました

パリの“幻の漆芸家”菅原精造——アール・デコを支えた日本人

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>菅原精造。</p> <p>フランス、アール・デコの工芸に大きな影響を与えた、この日本人漆芸家を知る人はほとんどいません。菅原がパリに渡ったのは1905（明治38）年。ヨーロッパのアーティストたちに日本の伝統技法を伝え、それは華麗に花開きました。</p> <p>「菅原がいなかったらヨーロッパの工芸はここまで発展していなかった」</p> <p>とまで言われながら、一度も帰国せずにフランスで死去。彼の業績は歴史に埋もれたままでした。藤田嗣治が「私の師だった」と述べた“幻の漆芸家”菅原精造の生涯を丹念にたどり、その芸術活動を紹介します。</p>
日いち	2017年04月27日（木） 19:00から20:30

日にち説明	18:30開場
場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
関連ファイル	170427 パリの“幻の漆芸家”菅原精造——アール・デコを支えた日本人 チラシ
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	60名（事前申込順）
参加費用	1,000円

講師・出演者	熱田充克
プロフィール	<p>■熱田 充克（あつた みつよし）歴史ジャーナリスト</p> <p>ト</p> <p>1955年生。上智大学文学部卒。毎日新聞記者、フジテレビ報道局ディレクターなどを経て、1993年から四年間、パリ特派員。2002年から2003年にかけて「シリーズ検証・C型肝炎」報道で新聞協会賞、米ピーボディ賞、早稲田ジャーナリズム大賞などを受賞。家具道具室内史学会会員。著書に『ドキュメント検証C型肝炎 薬害を放置した国の大罪』（共著、小学館、2004年）、『パリの漆職人、菅原精造』（白水社、2016年）</p>

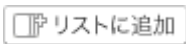
主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2017年02月26日 10:00 から2017年04月27日 19:00
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2017年 04月						
	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						

発信日

2017.02.26



ツイート